

INFORMATION

No. 29023

平成30年2月26日

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。 敬白

記

■ 実施日 2018年3月22日（木）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法
細胞診 (婦人科LBC)	容器ごと に提出	76	室温	3~8	150 + 18 ※7	パパニコロウ 染色

※7：病理学的検査判断料

※ 福岡市子宮頸がん検診もLBCでの出検を承ります。

※ 内膜スミアは従来法のみ承りとなります。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

▼専用容器の取り扱い方法について

容器形態	検査項目	
容器記号 76	細胞診（婦人科LBC ベセスダシステム） 細胞診（婦人科LBC）	
 内容 メタノール55% 貯蔵方法 室温 有効期間 1年6ヶ月	採取方法	
		1.子宮頸部の細胞を採取する。綿棒以外の採取器具（ブラシ、スパーテル）を用いて細胞を採取してください。
		2.細胞を洗い落とす。採取器具を容器に入れ、容器の底で採取器具の先端が広がるように10回程度押し付けた後、強くかき回して採取した細胞を洗い落としてください。
	3.しっかりフタを閉める。採取器具を取り出し、蓋の黒いラインが容器本体の黒いラインを左に超えるように、しっかり蓋を閉め、室温保存してください。（注）採取器具の先端は容器に残さないでください。	
<p>〔ご注意〕 妊婦より細胞を採取する場合は、安全性を考慮し、ブラシ、スパーテル等の採取器具の使用は避け、綿棒を使用してください。ただし、綿棒で検査に必要な細胞量を採取するために、採取前に別の綿棒で粘液を除去し、採取に使用した綿棒を保存液の中で十分にすすぎ、採取した細胞を洗い落としてください。容器には綿棒の先端を残さないで室温保存してください。また、綿棒では無理な力がかかかりますと折れる可能性がありますので充分にご注意ください。</p>		